



■鶴田浩二 (1924~87年) 昭和を代表する二枚目スター。演技のみならず歌でも活躍し、「俺だらけの人生」がヒット。

「加賀の女」など、女心を歌いました。ほれた女に行ったらと追いかけて、函

■加賀の女 「函館の女」の星野哲郎、島津伸男コンビが手がけ、1969年発売。香林坊など金沢市の名所が登場。



■古く民家を改装した「TUG BOOKS」の外観



地方への移住者たちがここ数年、書店を開業する例が目立つようになった。「本が売れない」と

# 「地域の拠点に」移住者が開業

## 本屋がほしい! 2023

島で、それが一変した。「地元のおじいちゃんがお茶を飲みながら昔の話をしてくれたり、お客さんから感想のメッセージが届いたり。よく来てくれる人の喜ぶ顔を想像して本を発注することもあります」という。

### 過疎地の交流「まちづくり」目指し

採算面では厳しく、今秋から平日は別の仕事を始めた。試行錯誤を続けながら、「書店が島のコミュニティになるために、長く続けることが大事だと思っています」と語る。

移住希望者の相談を受けつける認定NPO法人「ふるさと回帰支援センター」によると、UターンやIターンで移住した人が書店を開く例は、北海道や長野、福岡など各地でもみられる。広報の阿部里美さんは「移住者の多くは、過疎の町などで人が集まる場所を作

より大きな「まちづくり」という視点で書店を開く人もいる。昨年12月に新潟県上越市にオープンした「たてよこ書店」は、店主で東京経済大4年の堀田澗樹さん(23)が故郷と東京を行き来しながら営業する。「本が売れず、単体ではやっていけない時代だからこそ、書店にほかのものを受け入れる余地がある」という。

東京都内でシェア型書店「TAKIBI」を開く安藤哲也さん(61)は今年2月、無書店地域での書店開業を支援するNPO法人「ブックストア・ソリューション・ジャパン」を設立した。町民約2500人、厳しい人口減が続く鳥取県江府町が進める書店開業事業のアドバイザーを務める。イメージしているのは、行政書士や保健師、移住者たちが運営し、住民の生活相談を幅広く受け止める店だ。「そもそも新しいアイデアや前向きに生きる力を受け取れるのが本屋の特性で、それをさらに強化したい。ソーシャルワーク的な役割も含め、広い意味での『地方創生』になる」と期待する。(大阪文化部 中井道子)

### 読書推進月間



「TUG BOOKS」で移住生活を語る店主の田山直樹さん。店には大きな窓をもうけ、外からよく見えるようにした(香川県土庄町で)

20世紀初頭にパリで生まれた芸術運動・キュビズムの全容を紹介する「キュビズム展」が、

## 「春画」の魅力 映画と企画展で発信

記者ノート

写実性や芸術論は二の次。想像をかき立て、客をよこぼせることが全て。性風俗を大胆に描いた江戸時代の「春画」を一般公開する「銀座の小さな春画展」がギャラリーアートハウス(東京都中央区)で開かれている。



葛飾北斎「喜能会之故真通」(浦上蒼穹堂提供、一部加工しています)

公開中の「春画先生」と、24日公開予定のドキュメンタリー「春の画 SHUNGA」という、春画に関する2本の映画公開を記念した企画。国内有数のコレクターで、映画製作にも協力した浦上蒼穹堂(同)の代表浦上満さんが監修を務める。映画で紹介された葛飾北斎の「喜能会之故

真通」や、喜多川歌麿の「願ひの糸ぐち」など前後期に分けて約50点を展示。彫り、摺りといった浮世絵技術を結集した木版画ほか肉筆画もある。性の秘儀に目を奪われがちだが、背景や着物、装身具といった細部へのこだわり、彩色の豊かさに驚く。浦上さんは「有名な『蛸と海女』は謡曲がもととされる。『絵を読む』という言葉があるが、周囲の小道具や季節の花など深い味わいがある。春画は卑俗な絵

ではなく、日本が世界に発信すべきものと強調する。10月21日に開幕した同展は、来場者の約8

割が女性という。描かれる男女の身分や職業は様々だが、女性は一方的な欲望の対象ではなく、性を謳歌する自立した存在に見える。そうした春画に通底する「男女和合の精神」(浦上さん)が女性支持の理由かもしれない。「春画先生」も若い女性が春画の奥深さに魅せられていく物語だ。「春の画」でも女性の画家や愛好者らがそれぞれの視点で春画への思いを語っている。

春画はロンドンの大英博物館が2013年に大規模な企画展を開くなど再評価の機運がある一方、学術的な評価が分かれている。そのため、国内でも鑑賞機会が限られてきた。「春画先生」は15歳以上、「春の画」は18歳以上が鑑賞可能。同展も入場年齢18歳以上の制限がある。浦上さんは「実物を見ると、目がひらかれるでしょう。どう解釈するのは見た人の自由。全てを見てはいけない、と制限するのはおかしいのでは」と語る。映画をきっかけとしたユニークな試みは、画一的な評価にとらわれない春画の魅力を知る機会になりそう。12月17日まで。(文化部 木村直子)

### 館で開催



のキュビズム以後の展開までを14章立てで紹介する。章の多さが、この運動の多様性を物語っている。

本展の射程外だが、現役の画家であるデイヴィッド・ホックニーさんや横尾忠則さんは、ピカソに私淑する。いずれも東京で開催中の個展で、キュビズムを感じ取れる作品が味わえる。見実を見たまに描くことが

## 文化

### 芸術運動の多様性 紹介

20世紀初頭にパリで生まれた芸術運動・キュビズムの全容を紹介する「キュビズム展」が、

キュビズムの展開の多様性を示す作品が並ぶ会場。手前はレイモン・デュシヤン「ウィヨンの彫刻「大きな馬」

「始祖」であるピカソとプラックの作品の展示では、セザンヌの影響が濃いつ代や「分析的

20世紀初めの近代産業社会が一人と言えらるだろう。

見実を見たまに描くことが

■帰ろかな 永六輔作詞、中村八大作曲。1961年から放送されたNHKの番組「夢であいましょう」から誕生した楽曲。